

コンビネーション359号

中盤の攻めはポーン突きから

函館チェスサークル・インターネット通信

2017年7月7日発行

函館サマー・チェス大会特集 (1)

A photograph showing two male students sitting at a wooden table in a classroom, playing a game of chess. The student on the left is wearing a blue t-shirt with the word 'RUSTY' and glasses. The student on the right is wearing a white t-shirt and glasses. Chess pieces are arranged on a board between them. In the background, other students are seated at desks, and a laptop is visible on one of the desks.

7月1日から行われた函館サマー・チェス大会、優勝は渋谷快成君でした。ジュニア選手権の壮行会もかねたこの試合で結果を出してくれました。

優勝は快成君、第3位凱帆君！

なかなか入賞しなかった快成君ですが、前回の北海道選手権で元王者などに勝って3位タイの4位の活躍があり、今回は函館で1番です！

小学生のときから真面目に教室に通い、たとえ
 千里でも札幌や東京の大会に出続けた快成君が、結果
 を出したことは、講師として非常にうれしく思いま
 す。なお、同時優勝（タイブレーク 2 位）は山田
 明弘でした。

4ラウンド、これまでまったく歯が立たなかった金城透弥君に逆転また逆転の大熱戦、これをドローにしたのが転換点でした。次世代のホープ、瀬之介君にも勝って下位クラスからの入賞です。



後輩たちには今の先輩たちが模範に

他の生徒の棋譜はまだ精査していませんが、印象としては木村勇成君、高橋雅音君がいいプレーで次回の大活躍を予感させました。すでに年上の人をたおす力がありますので自信をもってほしいです。



小林橙太君はパターン認識力が、工藤漱之介君はチェス感覚がある。工藤永柊君は考えるスピードが早い。それぞれいい所を伸ばしてほしいものです。

透弥君、琉菜ちゃんもそうですが、快成君、凱帆君は真面目に教室に通って、ここで力をつけてきました。順調に伸びて結果を出してくれたことが非常にうれしかったです。教室の後輩たちには今の先輩たちが模範になるでしょう。

優 勝：渋谷快成、山田明弘 4.0

第3位：肝付凱帆 3.5

Aクラス優勝：肝付凱帆 3.5

Aクラス準優勝：金城康弘 3.0

Aクラス第3位：金城透弥 2.5

Bクラス優勝：木村勇成 3.0

Bクラス準優勝：工藤漱之介 2.0

Bクラス第3位：高橋雅音 1.5

Cクラス優勝：勝又 海 2.0

Cクラス準優勝：小林橙太 1.0

Cクラス第3位：工藤永柊 0.0

アンチ・シシリアンの代表例：

2. c3 (アラピン) 2... Nf6 3. e5 Nd5 4. d4

2. d4 (スミス・モータ・ギャンビット)

2. d3 (キングズ・インディアン・アタック)

2. Nc3 (クローズド・シシリアン)

と、まだまだたくさんあります！

メイン・ラインは激しい戦いになることが多いのですが、アラピンとクローズドは比較的落ち着いた展開になるのでおすすめできます。

2... Nc6 3. f4 (図1)



そして初級者にもおすすめできるのは、特徴的な手 3. f4 の **グランプリ・アタック** です。弱点の f2 を空けるのは怖いのですが、今は黒も準備不足で大丈夫です。f4 ポーンと f3 ナイトと組んで圧力をかけ、f5、e5 とポーン突きで攻めようというアイディアです。

『中盤の攻めはポーン突きから』

2 手目でいきなり 2. f4 とするのもありでしょうが、できれば何をしたいのか相手になるべくさせられないようにするのは大事な心理作戦でしょう。

3. g3 が **クローズド・シシリアン** のメイン・ラインです。以下、3... g6 4. Bg2 Bg7 5. Nge2 (5. Nf3!? はカールセンの得意技) e6 6. d3 Nge7 7. 0-0 0-0 まで互角。

組みあがってキャスリングした形は白も黒も良型です。白も黒も f ポーンを突く手をねらいます。

さて、本譜にもどります。

3... g6 4. Nf3 Bg7 5. Bc4

黒はドラゴンと同じ形で対抗するのが有効で勝率も良いです。白の 5. Bc4 は普通ですが 6. Bb5+ や

6. g3 (キングズ・インディアン・アタック) もあります。

5... Nc6 6. d3 (図2)



6... Bg4? を怖がってはいけません。黒がフィアンケットしているときにピンをしているビショップを追い払う手があるからです。

しかもこの局面には妙手があります。7. Bxf7!! Kxf7 8. Ng5+ 次に Qxg4 で白優勢。ビショップを取らない変化も、7... Kf8 8. Bb3! と単純にポーンの食い逃げをして、8... Bf6 9. 0-0 Kg7 (参考図 B)



参考図 B

r2q2nr/pp2p1kp/2np1bp1/2p5/4PPb1/1BNP1N2/PPP3PP/R1BQ1RK1 w - - 0 10

図から 10. h3! とビショップを追い払うのが好手です。10... Bh5 11. g4 でビショップ・トラップとなることを確かめてください。この h3 は他の定跡でもよく出てくる筋です。

図2にもどりましょう。

『フィアンケット+ピンは怖くない』

6... e6 7. 0-0 Nge7



fen:r1bqk2r/pp2npbp/2npp1p1/2p5/2B1PP2/2NP1N2/PPP3PP/R1BQ1RK1 w kq - 0 8

白はキャスリングして一段落。ここからは e と f のポーン突きと Qe1-g3 としてキングサイドを攻めるのがねらいです。

黒の Nge7 は普通に Nf6 もありますが d4 のマスをコントロールするのに Nc6-d4, Ne7-c6 という形にしたいのです。また、いつでも f5 とポーンを突く可能性を残しました。

局面はこれから互角の中盤戦。以下は元世界王者アナンドの指し方を鑑賞しましょう。

8. Qe1 h6 9. Bb3 a6 10. e5 Nf5 11. Kh1 Nfd4
12. Ne4 Nxf3 13. Rxf3 dxe5 14. fxe5 Nxe5 15.
Rf1 g5 16. Qg3 0-0 (図 3)



fen:r1bq1rk1/1p3pb1/p3p2p/2p1n1p1/4N3/1B1P2Q1/PPP3PP/R1B2RK1 w - - 0 17

17. Bxg5?!

強烈なサクリファイス (駒捨て)。コンピューターは疑問手としていますが、白の猛攻に黒は神経も時間も使うので、人間に対しては試す価値はありました。17. Nxc5 が普通で、互角でした。

17... hxc5 18. Nxg5 Ng6! 19. Rae1 Qe7 20.
Rf5! Bf6 21. Nxe6! (図 4)



fen:r1b2rk1/1p2qp2/p3Nbn1/2p2R2/8/1B1P2Q1/PPP3PP/4R2K b - - 0 21

17 手から白がねらっていた第 2 のサクリファイス。白は激しい攻めを続けます。しかし、黒が 21... Re8!! の妙手を発見していれば大変な勝負でした。以下、22. Re4 Bxe6 23. Bxe6 Qxe6 24. Rxe6 Rxe6 25. Rf1 で黒優勢。

黒は世界トップレベルの GM。それでも正確に受け続けるのは難しいのです。守るか攻めるかと迷ったらそれを参考にしてください。

21... fxe6? 22. Rxe6 Kg7 23. Rxe7+ Bxe7 24.
Rxf8 Bxf8 25. h4 1-0



fen:r1b2b2/1p4k1/p5n1/2p5/7P/1B1P2Q1/PPP3P1/7K b - - 0 25

Anand vs. Gelfand 1996 年

黒はリザインしましたが、続けても 25... Kh7 26. h5 Ne7 27. Qf4 Bg7 28. Qf7 Nc6 29. Qg6+ Kh8 30. h6 が予想され、逆転は不可能でしょう。

白のキングサイドへの攻め、黒の反撃という構図がわかりやすいゲームだったと思います。